

## 「ボランティアの止まり木」

「ささえあう ゆたかな 地域を目指して」

# ボランティアの輪をひろげよう！



## 【 会 の 概 要 】

- 名 称 「ボランティアの止まり木」
- 会 員 狭山元気大学(現狭山市民大学)  
「ボランティアコーディネーター養成コース」  
修了生 20名
- 設 立 平成24年7月

## 協働事業の事業名

「ささえあう ゆたかな 地域を目指して」

**ボランティアの輪をひろげよう!**

「ボランティアの止まり木」

## 事業の概要

1. 地域で活動しているボランティア団体の活動状況の体験発表を実施し、地域福祉に関する普及啓発を行う
2. 参加した団体がお互いの活動を理解し、今後の活動のための情報交換の場を作る
3. ボランティア間の輪を継続的に作り、交流の場の拡大を図る
4. 社会福祉協議会のボランティアセンターと連携を図り、ボランティア団体の活性化とボランティアセンターがフォローできない点の補完的な役割を担う
5. 発表者、団体の発表要旨を小冊子にまとめる

# 事業の実績

平成26年度 市民提案型協働事業

## ボランティア講座 体験発表

「ボランティア活動の今・これから！  
ささえあう ゆたかな地域を目指して」

日時 2015年1月17日(土)17時～19時30分  
場所 中央公民館 第2ホール

基調講演およびナビゲーター

橋本 洋光氏

日本ボランティア学習協会 副代表

発表者  
華野 新 氏  
板森 花音さん  
新村 忠 氏  
森 旺 氏  
園田 清一氏

読み聞かせボランティア  
埼玉県立狭山緑陽高校 美術部  
点字ボランティア「葦の会」  
オアシス作業所を支える会  
さやま笑いヨガ健康クラブ

「ボランティアの止まり木」

## 発表内容(一部抜粋)

華野さん	週3回 狭山台小、富士見小、入間川東小で活動 読み聞かせではなく、一人ひとりの子どもの顔を見ながら、顔色の変化・感情の動きを見ながら話をしている
板森さん	広瀬公民館とタイアップし、夏休みを利用して、小学生を中心に図画工作をしながら子ども達と交流している
新村さん	点字作業を通して視覚障害者と交流を重ね、点字書を提供するだけでなく、色々なイベントを行って心の交流を図っている
森 さん	オアシス作業所は障害者が働いている場所です その方達を支えることは当然ですが、それ以外に長野県の栄村との交流を進めるなど巾広く活動している
園田さん	笑いヨガを通じ、健康増進、心の健康に努め、各地に笑い与健康を広めて地域の活性化を図っている

## 参加者の声(アンケートより)

発表会参加者数	女性:31名 男性:45名 合計:76名
・アンケート回答者	女性:13名 男性:17名 合計:30名
・ボランティア活動	大半の方が何らかの形でボランティアをしている。
・基調講演について	ボランティアの 奥深さ、対等のフランクな関係、個人によって捉え方が異なっても良い、自発性を大切にす る等 殆んどの方が参考になった・大変参考になった と回答されている。
・発表について	色々なボランティアの活動があり、その中で心の交流 を図るなど感動した。 発表者の方はそれぞれが地域 とどう係わるかを考えている様で参考になった
・今後について	今後も多くの事例を取り上げて、発表の機会を作って 頂きたい

ご清聴ありがとうございました。



**「ボランティアの止まり木」**